

# がまこり 議会 だより

## 12月市議会定例会

一般質問…ここが論点……………	2～ 7
議決された主な議案……………	8～ 11
委員会通信……………	11
議会日誌、3月定例会予定等……………	12

NO. 131  
2026.2



クルーズ客船「飛鳥Ⅲ」初寄港



詳しい質問項目と動画は、上記コードを読み込むとご覧になれます

# 一般質問…ここが論点

12月定例会

12月市議会定例会中、12月3日、4日、5日の3日間で、市政全般について16人の議員が一般質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。詳しい内容をお知りになりたい方は、12月定例会会議録を市立図書館等でご覧いただくか、市議会ホームページの会議録検索システムをご覧ください。発行・掲載はいずれも3月上旬の予定です。

日程	議員名	主 な 質 問 の 項 目
12月3日(水)	松 本 昌 成	<a href="#">乳幼児健診の充実</a> <a href="#">高齢者等のごみ出し支援</a> <a href="#">住まいの終活</a>
	伊 藤 享 佑	<a href="#">西浦中学校跡地利用</a> <a href="#">保育環境の充実</a> <a href="#">海上防災ネットワークの強化</a>
	太 田 哲 也	<a href="#">食品ロス削減の推進</a> <a href="#">改正民法による離婚後の共同親権</a>
	日 恵 野 佳 代	<a href="#">次期介護保険制度改正の動向と、本市における市民生活への影響及び市の対応</a> <a href="#">三河港（蒲郡港）の特定利用港湾指定</a> <a href="#">竹谷町の土砂崩れ災害の原因究明および再発防止に向けた調査のあり方と市の対応</a>
	青 山 義 明	<a href="#">国道473号</a> <a href="#">随意契約</a> <a href="#">蒲郡市民病院の随意契約</a>
12月4日(木)	竹 内 滋 泰	<a href="#">令和8年度予算編成</a> <a href="#">いじめ防止対策推進法に基づく市内教育現場の安全確保と重大事態への対応</a>
	尾 崎 広 道	<a href="#">令和7年10月西浦町倉舞港において国土交通省が主に行った訓練</a> <a href="#">道路標示「停止禁止部分」</a> <a href="#">蒲郡市有地土地境界</a>
	芦 刈 純 奈	<a href="#">子育て支援の更なる充実</a>
	八 田 寿 人	<a href="#">雑草</a>
	牧 野 泰 広	<a href="#">本市の教育事情</a> <a href="#">乳幼児連れにやさしいまち</a>
12月5日(金)	鈴 木 将 浩	<a href="#">デジタル化の推進・課題</a>
	大 須 賀 林	<a href="#">大塚最終処分場の跡地利用</a> <a href="#">名鉄西尾蒲郡線のさらなる存続に向けた取組</a> <a href="#">三河港が「特定利用港湾」の指定を受けたこと</a>
	鈴 木 貴 晶	<a href="#">災害時の通信手段確保</a> <a href="#">録音機能付電話機の導入</a> <a href="#">蒲郡の課題解決にふるさと納税返礼品の活用</a>
	千 賀 充 能	<a href="#">「蒲郡市立地適正化計画（令和6年改訂）」の進捗と課題</a>
	中 野 香 余	<a href="#">保育園における保護者の退職・求職活動による継続入園の考え方</a> <a href="#">公立保育園の民営化・指定管理者制度</a>
	鈴 木 基 夫	<a href="#">女性のライフステージに応じた支援</a> <a href="#">高齢者のための統合ケア ICOPE (Integrated Care for Older People)</a>

※[下線付の項目](#)は質問と答弁の要旨を掲載しています



松本昌成  
公明党市議員

## 乳幼児健診の充実について

**問** 5歳児健診について、就学前の「発達のセーフティネット」として意義深いと考えますが、本市の考えと今後の取組を伺う。

**答** 国が令和10年度までに全国導入を目指す中、県内先行自治体を見ると、多職種との連携がしやすく、他児との関係性を確認しやすい集団健診型を多く取り入れており、本市でも、全5歳児を対象とした集団健診型での実施を検討している。8年度には関係機関と協議を開始し、まずは連携体制を強化していきたいと考える。

## 高齢者等のごみ出し支援について

**問** 高齢化に伴いごみ出しが困難な世帯が増える中、新たな支援策の導入について市の考えを伺う。

**答** 対象者の実態把握や運用体制など、多方面から検討を重ねる必要があることから、関係部署と連携して研究していく。

## 住まいの終活について

**問** 空家の増加を防ぐため、今後どのように取り組むのか伺う。

**答** 公民館等の高齢者が集まりやすい場所での住まいのエンディングノート等の配布や、高齢者に関心の高いセミナー等のイベントを活用して、住まいの終活を案内する。





伊藤 享佑  
市政クラブ

### 保育環境の充実について

**問** 土曜保育の受入時間延長について市の考えを伺う。

**答** 休日保育のようにお弁当等を持参してもらうことも視野に入れながら、利用実績や保護者のニーズを把握しつつ、検討していく必要があると考える。

**問** 国の補助制度を活用して、公立保育園への保育補助者導入を検討してはどうか。

**答** 人材育成のカリキュラムを構築し、しっかりと研修した人材を現場で活用することが重要であるため、本市としても、こうした人材育成を含めて、保育補助者の活用を前向きに検討していく。

### 海上防災ネットワークの強化について

**問** 三河港の特定利用港湾指定の受入れについて市の考えは。

**答** 特定利用空港・港湾は、自衛隊・海上保安庁が平素から必要な空港・港湾を円滑に利用できる枠組みを設けるものであり、「災害対応能力の向上」に期待している。

**問** 指定後を見据えた陸路と海路の連携の必要性について伺う。

**答** 令和3年度、5年度、6年度に海上自衛隊と共同訓練を実施しており、本市だけでなく広域的な防災力向上を図るためにも、陸路と海路の連携や整備は重要であり、今後も連携強化を図っていく。



太田 哲也  
公明党市議団

### 食品ロス削減の推進について

**問** フードシェアリングサービスによる食品ロスの削減について、本市の考えを伺う。

**答** 市の食品ロス削減計画において、フードシェアリングサービスを含め、食品の有効活用・再生利用を推進していく方針としている。今後、事業者との連携を図りながら、実施に向けた研究をしていきたいと考えている。

### 改正民法による離婚後の共同親権について

**問** 改正民法により、離婚後に共同親権を選択できる制度が始まる。周知方法を伺う。

**答** ホームページで広く周知している。今後は4月の施行に向け、広報への掲載や、窓口等でちらしを配布する

等、周知していきたい。  
**問** ひとり親家庭に様々な支援を行っているが、今後、共同親権を選択することにより、これまで受けられていた支援が受けられなくなる等、不利益を被ることがないか伺う。

**答** 現段階では、共同親権によるひとり親家庭への支援に大きな変更はないものと考えている。今回の法改正は、子どもの権利や利益を確保するためのものであり、基本的には、これまでののひとり親支援に不利益が生じないものと考えているが、国からの通知等を踏まえ、適切に対応していきたいと考えている。



日恵野 佳代  
無会派・日本共産党

### 次期介護保険制度改正の動向

**問** 介護保険の利用料増額に伴い高齢者の利用控えが起き、要介護度が重くなるリスクを市はどう考えるか。

**答** 厚生労働省の社会保障審議会で、負担能力のある人への2割負担拡大や、収入が低い人への負担増の影響について慎重に議論が進められている。今後も東三河広域連合と連携し国の動向を注視していきたい。

### 三河港（蒲郡港）の特定利用港湾指定

**問** 三河港が特定利用港湾に指定されると、自衛隊の訓練が増え、有事（武力攻撃）の際の利用につながるのではないか。

**答** 県は国に対し、あくまで民生利用が主で

あること、安全の確保に万全を期すことなど4つの要請を行っており、適切な対応がされるものと認識している。

### 竹谷町土砂崩れ災害の原因究明及び再発防止に向けた調査

**問** 県の報告書は大量の水の発生源を特定できていない。市民調査では豊川用水の漏水が強く疑われている。調査方法や体制に課題があるが市として再調査を求める考えはあるか。

**答** 豊川用水施設については、水資源機構が問題なしと判断し、市も報告書の内容を妥当と受け止めている。市として第三者調査を求める考えはない。







青山義明  
自民党市議団  
・無所属の会

国道473号について

**問** 国道473号の、早期のルート決定が必要と思うが、本市の認識について伺う。

**答** 本市としても、国道473号整備促進協議会や蒲郡市総合要望において、引き続き愛知県に要望していく。

随意契約について

**問** 職員の契約規則に関する周知徹底や研修について伺う。

**答** 豊橋市の契約事務における不適正な事務処理の事案を受け、部長会や予算編成事務等説明会を通じた注意喚起を行い、庁内電子掲示板にて周知徹底を図った。今後は随意契約ガイドライン等のマニュアルの見直しを行い、全庁的な研修に取り組

みたいと考える。

蒲郡市民病院の  
随意契約について

**問** 高額な医療機器の購入において、プロポーザル方式をどのように実施したか伺う。

**答** 令和5年2月に設置したMRI装置の場合、4年8月に放射線科医師など15名からなる蒲郡市民病院MRI装置選定委員会を設置した。主要4メーカーのプレゼンテーションを実施したほか、専門的な項目を含め多面的に評価した。9月21日の第3回選定委員会、候補機種が稼働している病院の視察等を行い最終判断に至った。



竹内滋泰  
市政クラブ

令和8年度予算編成について

**問** 市長の基本的な令和8年度予算編成方針を伺う。

**答** 物価高騰や災害リスクなど住民生活に直結する課題が深刻化し、また、本市の財政状況は硬直化が進んでいるため、スクラップ・アンド・ビルドを徹底していく必要があると考えている。

予算編成の基本方針として、「市民と一緒に未来の蒲郡を創る7の取組により、誰一人取り残さない」蒲郡の実現を目指す」を掲げ、取り組んでいる。

いじめ防止への対応について

**問** 本市のいじめの認知件数とその傾向について伺う。

**答** 6年度の学年別の

件数は、小学1年生38件、2年生42件、3年生39件、4年生40件、5年生52件、6年生34件、中学1年生30件、2年生25件、3年生6件である。直近3年間の件数を比較すると小学5年生で認知件数が多く、中学3年生が減少傾向にある。

**問** いじめの早期発見・対応のための学校現場での取組を伺う。

**答** 各学校は、定期的ないじめアンケート、教育相談を行い、未然防止、早期発見等ができるよう対応している。また、学級担任等が一人で抱え込まないよう、学校全体でチームとして対応している。



尾崎広道  
自由クラブ

令和7年10月に倉舞港で行った訓練について

**問** 国交省が、海上輸送による支援物資搬送等の訓練を行った。主な参加者を伺う。

**答** 蒲郡市、中部地方整備局、県三河港務所、西浦温泉旅館協同組合が参加し、西浦町総代会が見学した。

**問** ドローンを使った訓練の目的は。

**答** 業務艇の着岸に先立ち、港湾施設の被災状況等の把握をした。加えて映像を共有しながら市と国との連絡体制の検証を実施した。

道路標示「停止禁止部分」について

**問** 形原町御嶽交差点の西浦側にある停止禁止部分の設置理由は。

**答** 県公安委員会より、御嶽交差点方面から進む車両の視認確保のため、昭和58年2月に設置したと聞いている。

**問** 体育センター前の道と図書館前の道が交わる交差点手前の三差路に、消えかかって見えにくい停止禁止部分がある。廃止されているのか。

**答** 県公安委員会より、現在も廃止はされていないと聞いている。

市有土地境界について

**問** 形原眺海園の敷地は市の土地だが、施設建設時に南側との境界確定がされていない現状について伺う。

**答** 一部が境界確定に至らず、現在も同様。



停止禁止部分



芦刈純奈  
自民党市議団  
・無所属の会

### 子育て支援の更なる充実について

**問** 位置的頭蓋変形症の診察は4か月児健診で行っているのか。また保護者からの相談などはあるのか。

**答** 現在、市が実施している4か月児健診での診察は行っていないが、医師が診て専門的な診察が必要であると判断した場合は、紹介状により受診を促している。

保護者からの相談を受けた場合は「頭のかたち外来」など医療機関の情報を提供している。令和7年度の相談人数は、1回の健診あたり平均2・6人となっている。

**問** ヘルメット治療について、周囲の理解はまだ進んでいないように思う。保護者への周知についてどのように

行っていくのか。

**答** ヘルメット治療には赤ちゃんの頭が柔らかい、治療に適した効果的な時期がある。早期から保護者に情報をお伝えできるよう、赤ちゃん訪問時に周知用のちらしを配布するなど情報提供に努めていきたい。

**問** ヘルメット治療には保険診療が適用されない。市で頭蓋形状矯正ヘルメットの購入補助を導入してはどうか。

**答** 近年話題になっていく治療法であり、相談件数を含め保護者の関心が高いと感じている。実際の対象者数など、現状の把握にまずは努めたい。



頭蓋形状矯正ヘルメット



八田寿人  
自民党市議団  
・無所属の会

### 雑草について

**問** 今後のイネーブリングなまちづくりを進めるにあたっての取組の方向性を伺う。

**答** みどりのイネーブリングシティウォークの結果等を参考に、市民の雑草を含む自然に対する許容値の拡大、草花への見方や関わり方が変わること、個々の行動変容につながる新たなまちづくりの提案を検討し、実装していく。

**問** 市道の除草についてどのように対応しているか。

**答** 令和5年度より、草刈り回数を徐々に増やして対応してきたが、雑草の成長に草刈りが追いついておらず、対応に苦慮している。

**問** 農道、林道での草刈りの現状を伺う。

**答** 農道においては、地元総代区による道路愛護活動（道役）により草刈りを行っている状況である。林道においては、15路線中9路線は年1回の草刈業務を造園業者に委託しており、残りの6路線においては、地元総代区による林道環境美化活動等により草刈りを行っている。

**問** 市ホームページの「雑草や樹木の繁茂について」がわかりにくい、考えを伺う。

**答** 頂いたご意見を参考に、区分や表記を明確にし、誰もが必要なる情報に簡単にたどり着けるよう、わかりやすい内容に見直していく。



牧野泰広  
自由クラブ

### 本市の教育事情について

**問** 本市で初めて設置していく市立特別支援学校の学校像を伺う。

**答** 障害のある子と障害のない子が、日常生活を通じて交流ができれば、個別最適な学びが可能な「インクルーシブ教育」を实践する学校として設置し、「新時代の特別支援教育」を推進していく。

**乳幼児連れにやさしいまちについて**

**問** 観光地域や観光施設には、授乳室等が少ないように感じるが、赤ちゃんの駅を西浦地区やナビテラス、竹島クラフトセンター等に設置する考えはないか。

**答** 竹島クラフトセンターは対応が難しく、蒲郡駅のナビテラスでは、可能な限り会議室

を利用できるようにしているが、さらなる対応が必要であると考えている。西浦地区等の各地域の観光施設は、各地区観光協会と連携し検討していきたい。

**問** 蒲郡まつり等のイベントに移動式赤ちゃんの駅を購入して設置することや、民間イベントへの無料貸出しを実施してはどうか。

**答** 移動式赤ちゃんの駅の設置は、蒲郡まつり等、様々なイベントで積極的に実施していきたい。

また、本市が所有する簡易テントを民間イベント等へ貸出す事業としては、今後実施方法を検討していく。



赤ちゃんの駅フラッグ





鈴木将浩  
自民党市議会  
・無所属の会

## デジタル化の 推進・課題について

**問** 手続のオンライン化の進捗状況は。

**答** 国が示す49手続のうち42手続で対応が完了している。

**問** がまっと！と比べ、連携アプリのヘルスケアパスポートの登録者数が1割程度の約250件程度に留まっている。登録・利用促進をどう進めるか。

**答** 病院以外での登録支援を準備中である。また、見守り機能の活用等を検討している。

**問** 登録者の多いLINE公式アカウントを機能拡大し、利便性向上を図ってはどうか。

**答** マイナンバー関連窓口の予約等を実施しており、施設予約の活用も研究をしている。

**問** SNSの偽アカウントの被害防止対策の

ため公式マークの導入を検討してはどうか。

**答** 導入済のボートレース蒲郡以外のアカウントについても、付与の検討を進める。

**問** 教育現場での生成AIの活用や、児童生徒への教育の現状は。

**答** 教職員は規約に基づき生成AIを活用しており、児童生徒は現在利用を行っていない。

**問** 児童生徒でも生成AIの認知率・使用率が高まるなか、適切な指導や教育を進めるべきではないか。

**答** 生成AIへの理解や学びに生かす力を高める等、発達段階に応じた指導が今後必要であると考えている。



大須賀 林  
自民党市議会  
・無所属の会

## 大塚最終処分場の 跡地利用について

**問** 約2ヘクタールの跡地利用について市の考え方を伺う。

**答** 現時点で明確な廃止時期が見込めておらず、具体的計画に進める段階には至っていない。地域住民の意見を伺いながら、廃止後は速やかに跡地利用を開始できるように方法等を検討していく。

## 名鉄西尾蒲郡線のさらなる 存続に向けた取組について

**問** 三河湾健康マラソンを西尾市と共同開催することや、名鉄蒲郡線沿線走るコースの検討はできないのか。

**答** マラソン大会を西尾市と共同開催することで予算や人員を分担できるため、単独開催と比較してハードルが低くなると考えるが、

開催に際しては、交通規制をはじめとした解決すべき課題がある。

マラソン大会は名鉄利用促進の幾つかある選択肢の一つだが、慎重に検討すべきである。

**問** 三河湾健康マラソンの形態を変え、新たな大会にすることで名鉄の存続に弾みがつく

と考えるが、どうか。

**答** 名鉄利用促進の観点で考えた際、各イベントを通じて継続的な利用へどのようにつながっていくかが重要と考えている。どのイベントに主体的に取り組み、また連携していくのかなどを含め、効果的なPR活動や利用促進施策を引き続き検討する。



名鉄西尾・蒲郡線



鈴木 貴晶  
自由クラブ

## 災害時の通信手段 確保について

**問** スターリンクの導入スケジュールを伺う。

**答** 導入すると、地上の通信インフラに依存せず衛星インターネットサービスが利用でき

るが、まずはデモ機による現地調査や実証実験を実施し、導入の可能性を確認していきたい。問題がない場合は、災害時のバックアップとして有効である。

## 録音機能付電話機の 導入について

**問** ボートレース蒲郡と市民病院において録音機能付電話機を導入した経緯や効果について伺う。

**答** ボートレース蒲郡は、平成31年3月から、営業妨害やクレーム対策、応対品質向上を目的に導入し、悪質な

迷惑電話は減少したと実感している。市民病院は、令和7年9月から、円滑な病院運営を目的に導入し、悪質な営業電話などは、自動的に着信拒否されるように設定し、職員が安心して働ける環境づくりにつながっている。

**問** 職員へのカスハラ対策として、本庁舎で導入すべきと考えるが市の考えは。

**答** 通話における職員の接遇の向上や職員への不正な圧力の排除につながるかと考え、導入の必要性を以前から認識している。速やかに課題を整理し、導入に向けた検討を進めていきたいと考える。





千賀充能  
自民党市議団  
・無所属の会

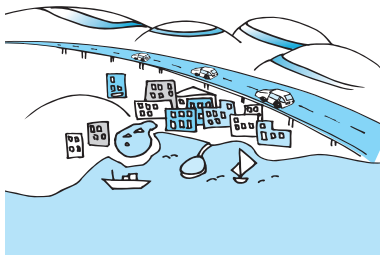
### 立地適正化計画の 進捗と課題について

**問** 本計画では、各鉄道駅を拠点として設定しているが、土地区画整理事業などの宅地開発を進めることにより、鉄道機能が発揮できると考えるがどうか。

**答** 拠点と定めた各鉄道駅周辺は、誰もが住みやすい居住地の形成を図る必要があり、そのために必要な誘導施策として、土地区画整理事業などの施策を進め、多世代が健康で安心して暮らせるまちの実現を目指している。

**問** 公共交通は利便性の観点からは、まだまだ検討が必要で、鉄道やバス等すべての公共交通を踏まえたネットワークを考える必要があると思うがどうか。

**答** これまでは交通空白地を解消するため、



コミュニティバスの運行拡大を進めてきたが、今後は鉄道と基幹バス、支線バスの役割分担を踏まえ、利便性が高く持続可能な公共交通ネットワークの構築が必要であると考えている。

**問** 土砂災害のリスクをどこまで考えているか伺う。

**答** 本計画では、災害の危険性や被害が大きいと想定される土砂災害特別警戒区域などは、居住誘導区域から除外している。

地区防災計画の策定などのソフト対策をハード対策と一体的に行いながら、災害リスクを低減していきたいと考えている。



中野香余  
自民党市議団  
・無所属の会

### 保護者の退職による 保育園継続入園について

**問** 子どもが入園途中に保護者が退職後、求職活動をした場合、継続入園が可能な期間や、手続の流れを伺う。

**答** 保育園に、求職活動申立書を添えて、教育・保育給付認定の変更を申請することで、保育が継続される。その後、勤め先が決まり、就労証明書の提出があれば、引き続き保育の継続が可能となるが、提出がない場合には、目安の30日が経過した後、退園となる。

**問** 継続入園が可能な期間を緩和する考えは。

**答** 継続入園の運用の見直しが望まれていると認識をしているが、まずは人材確保や、保育体制の整備に努め、継続入園期間の延長について、状況をよく見

極めながら考えていきたい。

### 公立保育園の民営化・ 指定管理者制度について

**問** 公立保育園の民営化や指定管理者制度の導入についての考えは。

**答** 公立保育園は、令和3年3月に策定した「蒲郡市公立保育園のあり方について」の方針に沿って整備を進めている。民営化については、中学校区内に保育園が複数ある場合、保護者が公立と民間を選択できるよう、一部の保育園について民営化を検討することとしている。指定管理者制度については、導入を検討していない。



鈴木基夫  
自由クラブ

### 女性のライフステージ に応じた支援について

**問** 妊娠前からの健康管理（プレコンセプションケア）の普及と取組を伺う。

**答** 今年度より小中学校へ保健師と外部講師の助産師を派遣し、性教育も含めた健康に対する正しい知識の普及活動を開始した。様々な相談に応じられるよう医療機関とも連携を図っていききたい。

**問** 安心して産める環境整備について、市民病院の現況を伺う。

**答** 現在は午後の診療予約を増やすPRを積極的に行っているほか、今年度中には無痛・和痛分娩の運用を開始できるよう準備を進めている。令和8年4月からは無痛分娩の経験豊富な医師も勤務予定である。



蒲郡市民病院

### 高齢者のための統合ケア ICOPEについて

**問** ICOPEの考え方を取り入れた高齢者支援が重要と考えるが、市の認識を伺う。

**答** 本市でICOPEの考え方を取り入れた高齢者支援は行っていないが介護予防の重要な視点と認識している。

**問** 高齢者一人ひとりの希望に沿ったケアプランの作成方法を伺う。

**答** 高齢者の内在的能力の評価指標の一つに「基本チェックリスト」を用いている。プラン作成時は、健康状態や身体能力等を評価し、本人の希望に沿った支援と一緒に考えている。



# 公立学校設置条例の一部改正についてなどを議決

12月市議会定例会は、12月3日から12月15日までの13日間の会期で開き、議案33件を審議しました。

公立学校設置条例の一部改正など、主な内容をお知らせします。

12月定例会

議案

## 条例議案

●乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

(第87号議案)

児童福祉法の改正に伴い、国の基準を踏まえ、条例で定めることとされた乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準について、必要な事項を定めるものであり、令和8年度から乳児等通園支援事業、いわゆる「こども誰でも通園制度」を実施するためのものです。

●文教委員会での主な質疑

問 本事業実施による、通常保育への影響はないか。

答 本事業はその実施時間を午前11時から正午までを除く、午前9時から午後2時までの間で実施すること

を予定しています。この時間帯は、子育て世帯の保育士が比較的多く勤務している時間帯ということもあり、通常保育への影響を最小限にとどめ、事業を実施できるものと考えています。

問 先行して実施している他自治体の声等があれば伺う。

答 豊川市の例で言いますと、事業の趣旨を理解した上でご利用いただく事に苦慮すると共に、利用予約の方法や募集期間の設定、空き枠に対して再募集をする

のか等、職員の負担と利用者の方の利便性の両面に配慮した運用方法に多くの課題を感じているそうです。

●本会議での主な論点

賛成 この「こども誰でも通園制度」は、保育の必要性のある家庭だけでなく、全てのこどもの育ちの保障や子育て家庭への支援の強化が目的とされた国が実施する新たな給付制度である。全国の自治体での実施が義務付けられており、本条例の制定は妥当なものと考えてる。

反対 乳幼児期は、同じ大人と安定した関係の中で過ごすことがとても大切である。短時間で不定期利用が中心となるこの制度が、こどもにとって本当に良いか、十分な検証がされていない。保育士の確保等、他にも優先すべき課題があると考え、反対する。

●公立学校設置条例の一部改正

(第89号議案)

蒲郡北部小学校及び蒲郡西部小学校を廃止し、蒲郡市立たちな小学校を設置

するため、所要の改正を行うものです。

●文教委員会での主な質疑

問 現時点において西部小学校の跡地はどのように利用する予定か。

答 令和7年11月5日に開催した第5回地域説明会の中で、基本的な考えとしては民間活力による利活用を想定していると説明しましたが、現時点では未定であり、今後地域の方々と民間の利活用の意向を把握した上で、決定されるものと考えています。

問 西部小学校の跡地利用について、地元の人から意見等をもらっているか。

答 昨年度から今年度にかけて、合計5回の地域説明会を開催し、参加した地域の人等にアンケートを実施しました。

●本会議での主な論点

賛成 本案は、蒲郡北部小学校及び蒲郡西部小学校を廃止し、蒲郡市立たちな小学校を設置することに伴い本条例の整理等を行うものであり、必要な改正であると考え、本議案に賛成するものである。



## 12月定例会で議決された令和7年度補正予算

会計名 (補正号数)	補正の主な内容	補正額	補正後の 予算額
一般会計 (第4号)	市庁舎管理事業費 庁舎新館減築工事等設計委託料 3,366 万円	3億3,654 万円	562億9,464 万円
	障害者自立支援事業費 障害福祉サービス費 障害者自立支援給付費等国庫負担金等返還金 6,100 万円 846 万 7 千円		
	養護老人ホーム管理運営事業費 屋根改修工事費 658 万円		
	児童福祉支援費 障害児通所サービス費 一般事務費 障害児入所医療費等国庫負担金等返還金 2,400 万円 8 万円		
	一般管理費 生活保護費等国庫負担金等返還金 8,395 万 6 千円		
	水道事業会計繰出金 8,900 万円		
	市民会館管理運営事業費 指定管理料 110 万円		
	施設維持管理費 市民体育センター等指定管理料 90 万円		
	学校給食センター管理運営事業費 学校給食物資購入費（市負担分） 2,275 万円 44 万 7 千円		
一般会計 (第5号)	訴訟事務費 2,300 万円	2億7,524 万円	565億6,988 万円
	物価高対応子育て応援手当支給事業費 2 億 5,224 万円		
水道事業会計 (第1号)	収益的支出 減免チラシ配布委託料 40 万円	40 万円	21億1,990 万円
下水道事業会計 (第1号)	資本的支出 全国特別重点調査に伴う管渠改築工事 8,500 万円	8,500 万円	45億1,110 万円

**反対** この計画が進めば、西部地域から学校がなくなり、地域のコミュニティの場が失われ、その結果、地域の活力が失われていくことが心配である。さらに、災害時の避難場所がなくなるといふ重大な問題もあり、学校の統廃合を、効率だけで

決めるべきではない。

### その他の議案

●人権擁護委員の候補者の推薦  
(第92号議案)

委員水藤典子氏及び與田智昭氏の任期が令和8年3

月31日に満了することに伴い、両氏を引き続き委員の候補者として法務大臣に推薦することについて、異議のない旨決しました。

●市道の路線認定及び廃止  
(第107号議案)

国道23号名豊道路の開通

により、県道が市道に移管されるため、市道駅南13号線ほか1路線については路線認定、市道元町15号線ほか1路線については路線廃止とします。また、市道としての公共性を有していないため、市道一木10号線については廃止します。



ボートレース蒲郡

●東京都六市競艇事業組合が開催するモーターボート競走施行に係る事務の受託に関する協議  
(第108号議案)

本案は、地方自治法第252条の14第1項の規定により、ボートレース江戸川の施行者である東京都六市競艇事業組合が開催する、モーターボート競走施行に係る事務の受託に関する規約を協議するため、議会の議決を求めるものです。規約の内容については、東京都六市競艇事業組合が開催する競走に関し、同組合が、他場開催として、ボートレース蒲郡で開催し、その施行者である蒲郡市との間で、事務の委託を定めるものです。

## ■ 陳 情

### ○介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情書

提出者 愛知自治体キャラバン実行委員会

代表者 森谷 光夫

審査結果 聞きおく

### ○医療現場の危機打開に向けた財政支援を求める意見書の提出に関する陳情

提出者 愛知県労働組合総連合（愛労連）

議長 西尾 美沙子

審査結果 聞きおく

### ○保育士・学童保育支援員の処遇改善に関する陳情

提出者 愛知県労働組合総連合（愛労連）

議長 西尾 美沙子

審査結果 聞きおく

### ○介護・障害福祉分野における処遇改善と公的支援の強化を求める意見書の提出に関する陳情

提出者 愛知県労働組合総連合（愛労連）

議長 西尾 美沙子

審査結果 聞きおく

### ○mRNAワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業に関する陳情書

提出者 竹内 貴嘉 ほか 17 名

審査結果 不採択

## ■ 全会一致で可決・同意した議案（○内の数字は議案番号）

⑧1 職員の給与に関する条例等の一部改正

⑧2 財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部改正

⑧3 林野火災の予防を推進するための関係条例の整備等に関する条例の制定

⑧4 市が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例の制定

⑧5 児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う子ども家庭庁関係内閣府令の整備等に関する内閣府令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

⑧6 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

⑧8 市立ソフィア看護専門学校の設置及び管理に関する条例の廃止

⑨0 少人数学級編制の実施に係る市費負担教員の任用、給与等に関する条例の一部改正

⑨1 公平委員会委員の選任

⑨2 人権擁護委員の候補者の推薦

⑨3 指定管理者の指定（竹島駐車場）

⑨4 指定管理者の指定（塩柄駐車場）

⑨5 指定管理者の指定（形原温泉駐車場）

⑨6 指定管理者の指定（蒲郡公民館）

⑨7 指定管理者の指定（小江公民館）

⑨8 指定管理者の指定（府相公民館）

⑨9 指定管理者の指定（東部公民館）

⑩0 指定管理者の指定（北部公民館）

⑩1 指定管理者の指定（西部公民館）

⑩2 指定管理者の指定（三谷公民館）

⑩3 指定管理者の指定（塩津公民館）

⑩4 指定管理者の指定（大塚公民館）

⑩5 指定管理者の指定（形原公民館）

⑩6 指定管理者の指定（西浦公民館）

⑩7 市道の路線認定及び廃止

⑪1 令和 7 年度水道事業会計補正予算（第 1 号）

⑪2 令和 7 年度下水道事業会計補正予算（第 1 号）



## 賛否が分かれた議案

○：賛成 ●：反対

議案番号	議案名	会派・議員名	自由民主党蒲郡市議団 ・無所属の会								蒲郡 自由クラブ				蒲郡 市政クラブ				公明党 蒲郡市議団		無会派
			大場 康議	千賀 充能	芦刈 純奈	中野 香余	藤田 裕喜	鈴木 将浩	青山 義明	大須賀 林	八田 寿人	牧野 泰広	鈴木 基夫	鈴木 貴晶	尾崎 広道	来本 健作	新実 祥悟	伊藤 享佑	竹内 滋泰	太田 哲也	松本 昌成
87	乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
89	公立学校設置条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
108	東京都六市競艇事業組合が開催するモーターボート競走施行に係る事務の受託に関する協議	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
109	物品の購入（西浦地区学校複合施設什器等）	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
110	令和7年度一般会計補正予算（第4号）	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
113	令和7年度一般会計補正予算（第5号）	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

※大場康議員は議長職により採決には参加していません。

※第89号議案は地方自治法に基づく特別多数議決のため、議長も表決権を有します。

### 議会運営委員会 10月20日～21日

大阪府三島郡島本町／通年議会、新庁舎  
大阪府泉南郡熊取町／議選監査の廃止



### 委員会の行政視察報告

先進自治体等の事例を学ぶため、10月に議会運営委員会と文教委員会が、11月に経済委員会が行政視察を行いました。視察地や視察項目をお知らせします。

### 経済委員会 11月4日～6日

埼玉県戸田市／上下水道事業の包括管理委託  
ボートレース戸田／Moov i 戸田  
埼玉県草加市／そうかりノベーションまちづくり  
千葉県木更津市／パークベイプロジェクト



### 文教委員会 10月22日～24日

和歌山県和歌山市／和歌山市民図書館  
大阪府豊中市／豊中市立庄内さくら学園  
滋賀県長浜市／ながはま0次予防健康づくり推進事業



# 委員会通信

## 議会日誌

9月26日から12月15日

### 10月

20日～21日 議会運営委員会行政視察  
22日～24日 文教委員会行政視察  
27日 議会運営委員会理事会

### 11月

4日～6日 経済委員会行政視察  
17日 議会運営委員会理事会  
19日 12月定例会招集告示  
議案説明会  
25日 議会運営委員会  
議会運営委員会理事会

### 12月

3日～15日 12月定例会  
9日 名鉄西尾・蒲郡線存続協議会  
15日 議会だより編集委員会

## 3月定例会予定

3月市議会定例会は、2月26日(木)から開会する予定です。

詳しい日程は、2月24日(火)に開かれる予定の議会運営委員会で決まりますので、それ以後に議会事務局へお問い合わせください。なお、本会議の日程と一般質問の内容は、決まり次第、市議会のホームページに掲載します。



点字版は、点訳グループ「あい」の皆さん、CD版は、音訳グループ「声」の皆さんのご協力で発行されています。

議会だよりは点字版、CD版も発行しています

## 議会だよりをスマホへ配信します！

下のコードを読み込むか「マチイロ」で検索

無料  
です！



高市早苗総理の就任は、憲政史上初の女性首相として「ガラスの天井」を打ち破る歴史的快挙です。国内の女性政治参加拡大にとどまらず、国際社会に対しても日本の新たな姿勢を示す出来事として高く評価され、制度や慣習に挑み続ける姿勢は、後に続く世代への模範性を備えています。

一方、大谷翔平選手は投打二刀流で前人未到の記録を積み上げ、野球史に新たな基準を打ち立てました。彼の徹底した集中力と努力は、人気や世論に左右されず、自らの基準を尊重する姿勢から生まれたものです。

両者に共通するのは、明確な責任を自覚し、長期的視点で一貫性を保ち、言葉より行動で示す覚悟です。分野は異なっても、この本質的な姿勢は日本の誇りを築く共通点であり、力強さと持続性をもって責任を果たす姿は、政治に携わる者にとっても大きな示唆を与えるものだと思います。

## 今月の表紙 クルーズ客船「飛鳥Ⅲ」初寄港

令和7年7月に就航を開始したクルーズ客船「飛鳥Ⅲ」が、同年11月蒲郡に初寄港しました。蒲郡ふ頭11号岸壁に接岸し、弁天踊りや手筒花火等の初寄港を祝したイベントを開催しました。国内最大級のクルーズ客船を間近で見ることができる機会として、当日は多くの観覧者で賑わいました。また、本年1月30日には、同客船が再度蒲郡へ寄港します。

